

調査日：2019年9月25日、10月24日、11月20日(9:00～12:00)

| 科名 | 種名 | 個体数(羽) | | |
|--------|---------------|--------|------|------|
| | | 9月 | 10月 | 11月 |
| カモ科 | マガン | | | 2 |
| | オカヨシガモ | | | 27 |
| | ヒドリガモ | 4 | 78 | 56 |
| | ヒドリガモxアメリカヒドリ | | | 1 |
| | マガモ | | 65 | 313 |
| | カルガモ | 83 | 324 | 238 |
| | ハシビロガモ | | | 13 |
| | オナガガモ | 3 | 50 | 249 |
| | コガモ | 182 | 324 | 212 |
| | ホシハジロ | | 61 | 15 |
| | キンクロハジロ | | 2 | 1 |
| ミコアイサ | | | 4 | |
| カイツブリ科 | カイツブリ | 29 | 38 | 20 |
| | カンムリカイツブリ | | 13 | 128 |
| | ハジロカイツブリ | | | 58 |
| ウ科 | カワウ | 252 | 163 | 156 |
| サギ科 | ゴイサギ | | 1 | |
| | アマサギ | 1 | | |
| | アオサギ | 25 | 21 | 28 |
| | ダイサギ | 19 | 23 | 15 |
| | チュウサギ | 8 | 5 | |
| | コサギ | 11 | 25 | 7 |
| クイナ科 | バン | 2 | 2 | |
| | オオバン | 10 | 43 | 122 |
| シギ科 | ツルシギ | | | 1 |
| カモメ科 | ユリカモメ | | 5 | 75 |
| | セグロカモメ | | | 1 |
| | ニシセグロカモメ | | 1 | 1 |
| | 大型カモメ類不明種 | | | 1 |
| ミサゴ科 | ミサゴ | 1 | 5 | 4 |
| タカ科 | トビ | 3 | 2 | 3 |
| | チュウヒ | | 3 | |
| カワセミ科 | ハイタカ | | | 1 |
| ハヤブサ科 | カワセミ | 2 | 6 | 3 |
| セキレイ科 | ハヤブサ | | 1 | |
| | ハクセキレイ | 1 | 2 | |
| 12科 | セグロセキレイ | | 1 | |
| | 36種 | 644 | 1267 | 1753 |
| 外来種 | コバクチョウ | 23 | 37 | 27 |



チュウサギ (9月)



クロハラアジサシ (9月)



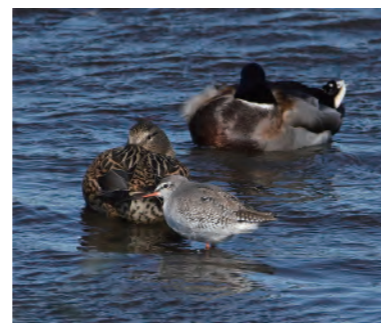
チュウヒ (10月)



ヒヨドリ (10月)



マガン (11月)



ツルシギとマガモ (11月)

写真は調査区外で撮られたものもあります

あびこ鳥だより

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.57

Winter
2020
【冬号】



利用案内

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、館内整理日、年末年始(12/29～1/4)

| | 区分 | 個人 | 団体 |
|---------------------|---------|------|------|
| 入館料 (当日有効) | 一般 | 300円 | 240円 |
| | 高校生・大学生 | 200円 | 160円 |
| 3館共通入館料 (1か月有効)* | 一般 | 600円 | |
| | 高校生・大学生 | 400円 | |

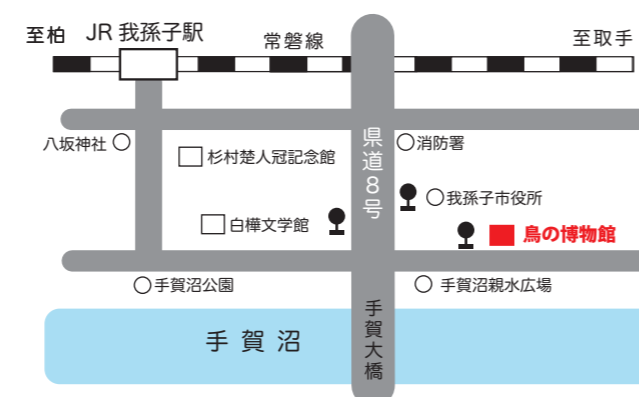
- ・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳等をお持ちの方(付き添い1名含む)
- ・中学生以下の方は入館無料
- *白樺文学館、杉村楚人冠記念館との共通券

●お問い合わせ：我孫子市鳥の博物館
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山234-3
☎:04-7185-2212 FAX:04-7185-0639



交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由
バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館経由のバスが運行しています
我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館前」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館前」下車
自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場無料/大型バス駐車可)



【特集】

解説利用のススメ

【最新情報】

新企画展「バンディング展～足環でわかる鳥の渡り～」がスタートします
鳥博セミナー「ハクセキレイの標識調査」を開催します

表紙の鳥 オオジシギ

「解説利用のススメ」

目の前にはフィールドミュージアムも

「我孫子市鳥の博物館」（以下鳥博）は日本で唯一、鳥に特化した博物館として、平成2年5月22日に開館しました。身近な鳥はもちろんのこと、世界中の鳥を対象としています。鳥博の周辺には、水面・農耕地・斜面林・住宅街などがあり、環境の変化に富んでいます。少しの移動で、様々な環境の鳥を見ることができ、バードウォッチングにはもってこいです。

鳥博の活動は館内にとどまらず、目の前に広がる手賀沼と、その周辺の自然をフィールドミュージアムと捉え、自然観察会や調査などの場として、積極的に活用しています。館内見学と合わせて、気軽に野外観察することもできます。

生きた情報をお届けします

鳥博に来館される方は、鳥が好きで詳しい方ばかりではありません。「よくみかけるあの鳥の名前は?」「この声は何の鳥の鳴き声?」といった、鳥に関する疑問や質問をお持ちの方はいませんか。思い当たる方は、ぜひ鳥の博物館をご活用下さい。

展示室には、来館者との交流を活動の目的とした「展示交流スタッフ(ボランティア)」がいます。展示交流スタッフは鳥の専門家ではありませんが、日頃の疑問を解決するお手伝いをします。展示交流スタッフによる「ワゴントーク」ではフクロウ・カワセミ・モズなど、特定の鳥にスポットを当てたお話をします。活動人数など、当日の状況に応じて実施していますので、鳥の秘密が詰まったワゴンに出会えたらラッキーです。足を止めて聞いてみて下さい。

鳥の解説をじっくり聞きたいという方には、学芸員による「ガイドツアー」がオススメです。実施日時は土・日・祝日の午前11時30分と午後2時30分です(実施の有無や時間は都合により変更することがあります。当日お問い合わせ下さい)。30~40分程度の時間で、展示解説や学芸員がオススメのテーマを設定してお話します。解説する際の補助道具として、標本(部分標本)や鳥の鳴き声を入れたiPadなどを携帯しています。トートバッグから次々と道具が出てくる様子を見て「〇〇えもんのポケットみたいね。」と度々言われます。展示物の紹介だけにとどまらず、見て触って楽しんでいただけるように工夫しています。団体で来館される場合は、事前予約制で解説を承っています。内容は大人に向けたものだけでなく、年齢や学年に応じた対応が可能です。

展示とリンクした自然が目の前に広がっているため、自然観察会や調査などで得た最新の情報は、その場だけではなく、すぐに館内での活動にも取り入れることができます。館内・野外の活動は繋がりを持って成り立っています。

伝える力とは

私は展示や生き物について解説をする仕事に就いて約20年になります。生き物の魅力を伝えるにはどうしたらよいか、もっと工夫できることはないだろうかと考え続け、今に至ります。振り返ってみて「えっ!?もう20年経ったの。」と驚きました。何年やったか、なんていうことは経験にはなっても、解説方法の大正解なんて、いまだによくわかりません。その場の状況に合わせて、臨機応変に対応することが必要です。

情報を発信する際、正しい知識や情報を持つことはもちろんのこと、それを相手にわかりやすく、正しく伝える手段を持たなければ、自己満足で終わってしまいます。自分の考えを論理的に明確にして、相手に表現し、伝える力は、博物館における教育普及活動の場で重要な能力です。私も利用者の生涯学習の一助となれるよう、今の自分に満足することなく、成長していきたいと思えます。



トキワサンザシの実を食べるメジロ
こんな様子も間近で観察できます



解説の様子



解説用の七つ道具(一例)
七つどころではないことも多々あります



観察会で採集した魚



採集した生き物の仕分け作業
我孫子の自然全体に目を向けて説明します

最新情報

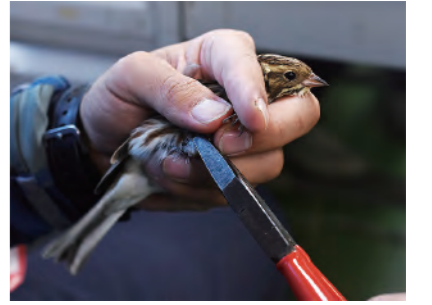
新企画展「バンディング展～足環でわかる鳥の渡り～」がスタートします

バンディング(標識調査)は、個体を識別するための標識を鳥に付けて、渡りや寿命を調べる調査です。日本では、環境省が山階鳥類研究所に委託して調査が行われており、各地で様々な鳥を対象とした調査が実施されています。

本企画展は、標識調査で得られる成果を一般の人にわかりやすく伝えることで、この事業の普及や一般の方の協力をより得やすくすることを目的としています。

鳥類標識調査でわかることはたくさんありますが、最も多くの方が興味をひかれるのは鳥の渡りでしょう。本企画展では、標識調査によって判明した渡り鳥の移動経路を本剥製標本とともに展示します。次に、標識調査によって得られる渡り以外の情報、鳥の寿命、地域の鳥類相や形態に関する情報にはどのようなものがあるのかを解説します。さらに、鳥類標識調査がモニタリングや保全に対しても有用な手法であることを紹介します。最後に、鳥類標識調査は市民科学であり、一般の人たちの協力がかせないものであることを解説し、標識鳥の回収への協力を展示の中で呼びかけます。

本企画展を通して、標識調査がどのように行われているのか、どのような成果が得られているのかを多くの人に知っていただき、社会的な認知が高まることを期待しています。開催期間は2月1日(土)から6月14日です。ぜひ、ご来館ください。



金属足環を付けられるカシラダカ



金属足環とカラーリングを付られたユリカモメ

鳥博セミナー「ハクセキレイの標識調査」を開催します

ハクセキレイは、都市部でも身近に見られる鳥の1つですが、観察だけではわからないことを調べるために、足環をつけて個体を識別する標識調査が行われています。20年以上にわたる調査を通じて明らかになってきたハクセキレイの性と年齢の識別、都市部での生態や、調査活動の面白さなどについて、ハクセキ道場を主催されている亀谷辰朗さんと公益財団法人山階鳥類研究所研究員の森本元さんにお話しいただきます(開催日時はイベント情報をご覧ください)。



金属足環を付けられたハクセキレイ

イベント情報

●展示

- 第86回企画展「バンディング展
～足環でわかる鳥の渡り～」
期間：2月1日(土)～6月14日(日)
場所：博物館2階企画展示室

●講演・室内イベント

- テーマトーク
日時：毎月第3土曜日 13:30～14:15
場所：博物館2階多目的ホール
定員：先着50人(参加無料)
講師：山階鳥類研究所所員、鳥の博物館学芸員

○鳥博セミナー「ハクセキレイの標識調査」

- 日時：2月23日 13:30～15:00
場所：博物館2階多目的ホール
定員：先着50人(申し込み不要)
講師：亀谷辰朗さん(ハクセキ道場)
森本元さん(山階鳥類研究所保全研究室研究員)

●自然観察会

- てがたん～自然観察会～
2月のテーマ「暮らしの役に立つ草」
3月のテーマ「鳥帰る」
日時：毎月第2土曜日 10:00～12:00(雨天中止)
定員：なし
集合場所：博物館入口(予約不要)

- あびこ自然観察隊④「観察しよう!手賀沼の冬鳥」
日時：2月16日(日) 9:00～12:00(雨天中止)
集合場所：手賀の丘少年自然の家
定員：50人(要予約)
申込み：電話受付(手賀の丘少年自然の家 04-7191-1923)

- あびこ自然観察隊⑤「春の谷津田観察会」
日時：3月15日(日) 9:00～12:00(雨天中止)
集合場所：JR東我孫子駅前
定員：30人(要予約、小学4年生以下は要保護者同伴)
申込み：3月1日より電話受付(鳥の博物館 04-7185-2212)

自然観察会は高校生以上の方は保険料100円がかかります
館内で行うイベントは参加無料でも入館料が必要です